

授業科目名・形態	精神科リハビリテーション学Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

この講義では精神保健福祉の理論と相談援助を展開する上での理念や基本原則等の理解を基盤として、具体的援助におけるプロセス、技法を学んでいく。また多職種等との連携、社会資源の活用等の視野も広げていく。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開方法の概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
- 2) 精神保健福祉の理論と相談援助のプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用方法について理解する。
- 3) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1回 アウトリーチサービス
- 第 2回 家族教育プログラム
- 第 3回 精神科チーム医療の概念
- 第 4回 多職種との協働・連携の技術
- 第 5回 多職種との協働・連携の技術
- 第 6回 リハビリテーションチームにおけるP SWの役割。
- 第 7回 リカバリーの展開 ピアカンセリング
- 第 8回 多文化ソーシャルワーク、アンチステigma
- 第 9回 バイスツェクスの7つの原則
- 第10回 医学（治療）モデルと生活モデル及びストレングスモデル（具体的例を用いて）
- 第11回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方①
- 第12回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方②
- 第13回 地域における資源の動員とネットワーキングの実際①
- 第14回 地域における資源の動員とネットワーキングの実際②
- 第15回 スーパービジョンとコンサルテーション

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

事前に教科書を読んでおくこと

【主に関連する科目】

精神保健の課題と支援 中央法規

【教科書等】

精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ 弘文堂

【参考文献】

随時、講義の中で紹介する

【成績評価方法】

筆記試験又はレポート80%、授業態度20%により総合して判断する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

40年以上の実務経験で得たあらゆる相談援助の場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい。

【学生へのメッセージ】

本講義は精神保健福祉専門職の視座、技術、役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。精神保健福祉士を目指す学生は、積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。